

いわみざわ

農業委員会だより

No.14

令和2年1月発行



無人トラクター現地視察(令和元年8月29日)



新年あけまして
おめでとうございます

主な 内容

- 年頭のあいさつ
- 農業者年金情報
- 意見・要望書の提出
- 農地制度解説
- 農業委員の募集
- 流動化情報など
- 編集後記

年頭にあたって



岩見沢市農業委員会

会長 山谷 康雄

明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、謹んでごあいさつを申し上げますとともに、平素より当農業委員会の活動に深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

皆様方におかれましては、新たな年の始まりに際し、今年の営農計画を思案されていることと思います。

昨年を振り返りますと、天候に恵まれ春作業は順調に進みました。しかし、干ばつ傾向が続き、畑作物においては生育が心配されましたが、麦では豊作となり、水稲、大豆、玉ねぎ等の主要作物の作況は、いずれもやや良、又は平年並みでま

ずまずの出来秋となりました。
さて、農業委員会では、市ホームページに掲載している農業委員会活動計画に基づき、農地の集積等を進めており、担い手への集積は農地面積の九割を超え、引き続き高い集積率を維持しています。
また、遊休農地対策は、農地パトロールを実施し、遊休農地の解消や農地利用の最適化に取り組んでいます。

さらに、平成三十年度的における農業者年金の加入推進活動では、新規加入者全国一位表彰を二年連続受賞させていただきました。また、東京での全国農業委員会会長代表者集会の「農業者年金加入推進セミナー」において、当農業委員会の活動を事例発表させていただきました。

改めて関係各位のご協力に感謝申し上げます。
今年は、農業委員の改選の年でございます。今後の農業委員会活動の継続、発展のため、なお一層の関係各位のご協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

最後に、本年も農業に携わる皆様がかん
豊かに将来に希望をもって農業に取り組めるよう、地域に根ざした農業委員会活動にまい進いたすことを申し上げます。また、災害のない、実り多い豊かな年になりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



年 新 賀 謹

岩見沢市農業委員会

会長 山谷 康雄
会長職務代理 佐々木利夫

第一地区常任委員会

委員長 黒田 芳明
副委員長 吉成 朗
委員 柿崎壽恵子
委員 倉田 真二
委員 佐々木利夫

第二地区常任委員会

委員長 坂 啓一
副委員長 森 一男
委員 馬場 広之
委員 森本 英世
委員 長井 眞一

第三地区常任委員会

委員長 野 文明
副委員長 山田 辰弘
委員 引頭 一宏
委員 中林 善治
委員 前田 善治

第四地区常任委員会

委員長 渡辺 亮二
副委員長 西谷内智治
委員 戸田憲一郎
委員 尾田 憲朗
委員 伊藤 俊春
委員 米内山裕子

第五地区常任委員会

委員長 町田 透
副委員長 木下 幸彦
委員 池田 明博
委員 志賀野 敏
委員 井川 和也

第六地区常任委員会

委員長 日笠 和良
副委員長 干場 克二
委員 柳谷 春夫
委員 近田 昌枝
委員 山谷 康雄

第七地区常任委員会

委員長 籠島 和義
副委員長 宇井 正明
委員 宮崎 裕治
委員 道下 智義
委員 小倉 和敏

農業委員会事務局

事務局長 原 政裕

農地係

係長 池田 大輔
主任 佐藤 一明

振興係

係長 内山 充人
主任 山本 里美
主事 五十嵐 涼
主事 桑名 翔平
主事 石澤 磨

(農業振興センター担当)

主査 山田 勝彦



農業者年金加入者 2年連続全国1位！

岩見沢市農業委員会（山谷康雄会長、農業委員36人）では、農業者年金の新規加入者が2年続けて全国第1位となりました。平成29年度67人、30年度53人です。農業委員がそれぞれの地区で日常的に、農業者への周知活動に取り組んだ成果です。女性の加入が順調に進んでおり、この2年間の新規加入者の約半数57人が女性です。令和元年に入ってから加入の勢いは続き、4～7月の新規加入者数はすでに19人に達しています。

平成30年度 新規加入者数部門 53名
女性新規加入者数部門 29名



農業者年金基金の西理事長から新規加入者数全国1位（全体及び女性の部門）の表彰を受ける山谷会長（右）（令和元年6月19日、札幌市）

のうねん No.285から

農業委員の推進で女性の加入増える
新規加入者数は2年連続で全国1



農業者年金受給者の声



西川町 松田 和枝さん

● 『安心して老後を暮らせる』

親が農業者年金に加入していたことをきっかけに20歳から加入しました。年金受給中の今、早くに加入させてくれた両親に感謝しています。

新制度に切り替わった時、不安になったけど、説明会で新制度は「積立年金」と知り、積み立てた分、自分に返ってくるというところに魅力を感じ加入しました。病気や災害、いつ何が起きるかわからない人生、農業者年金に加入して、生活にも気持ち的にも「安心」が生まれました。



若松町 西岡 和代さん

● 『若い女性にぜひ加入してほしい』

私の将来のことを考えた主人に、加入を後押ししてもらいました。当時、女性の加入者は少なかったため、女性の地位向上になると思い加入することにしました。

入ったことで、仕事にも張り合いが生まれたし、「夫婦円満の秘訣」にもなりました。また、もっと早くから加入していれば、と私は思ったので、「若い女性の方」にはぜひ加入してほしいです。



北村幌達布 岩瀬 啓子さん

● 『元気な自分にご褒美を』

新制度に変わる時、周りは旧制度を脱退する人が多くいましたが、私は将来年金でもらう方がいいと思い脱退せずに継続し、新制度にも加入しました。

現在は両制度から年金をもらいながら、健康的な食べものなど、ちょっとしたぜいたく品を自分へのご褒美として買うことが日々の楽しみ。

農業をして、美味しいものを食べる今が一番幸せです。

農業者年金で安心・豊かな老後を

- 積立方式だから自分がかけた金額は年金として一生涯もらえます。
- 保険料はいつでも変更可能！（月々2万円から6万7千円まで）
- 支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。
- 一定の要件を満たすと政策支援（保険料の国庫補助）が受けられます。



市長へ

「令和元年度 意見・要望書」を提出！

令和元年11月19日、各農業委員の意見をまとめた6項目からなる意見・要望書を提出しました。



市長へ提出



市農政部と意見交換

1 農業経営基盤強化資金の融資枠の維持及び金利負担軽減措置枠の拡充について

今後とも農地取得に当たり、資金の利用が不可欠であり、予算額の現状水準維持について、関係機関に強く働きかけるよう要請

2 農家地域内の空家除却費用等の助成拡充について

国における空家対策強化の動きも見据えた中で、市における予算額及び助成上限額等の増額の検討について要請

3 有害鳥獣対策の充実強化について

特にアライグマ対策（講習会、箱ワナの確保）の充実強化を要請

4 強い農業・担い手づくり総合支援交付金による支援に必要な取組目標の緩和について

岩見沢市においては農業者の多くがすでに経営面積の拡大が図られているのが実態であり、他府県と比較し採択基準となるポイントの加算が不利であると考えられ、北海道においては経営面積の拡大の取組目標を緩和するなど、関係機関に強く働きかけるよう要請

5 スマート農業・新規作物への助成制度及び高速通信環境の整備促進について

ICT農業普及促進事業に係る自動操舵・RTK受信機の導入助成制度の継続とICT技術を活用した取り組みに対する助成制度の拡充、また、農業後継者の新たな作物に取り組む場合に必要となる資材等へ支援することを要請

6 基盤整備事業の早期実施について

暗渠排水の機能保全や取付け道路の損壊など、経年劣化や農業用機械の大型化に対応できていないことにより営農に様々な支障が生じていることから、可能な限り早期に事業が実施されるよう関係機関に強く働きかけるよう要請。また、市が管理している農業用排水路について、しゅんせつ事業に対する予算増額等を要請

農地パトロールを実施しました！

後継者等が無く草刈り等の管理がされていない農地や山林原野化し作つげができなくなった農地を重点的に、各地区ごとに班編成し、農地パトロール（利用状況調査）を毎年実施しています。

調査の結果、遊休農地又は遊休化の恐れがある農地と判断した場合は、農地の利用について、所有者の方等に意向を確認し、解消に向けた利用の調整を行います。

農地の利用についてお困りのことや、わからないことがありましたら、地域の農業委員又は農業委員会事務局へご相談ください。

第2地区



第6・第7地区



第4地区



農地の売買・賃貸借・転用等には許可が必要です。

農地法第3条

所有権等の権利の移転、賃貸借権等の設定をするときの許可

農地法第4条

農地を自ら農地以外(住居・倉庫等)に転用するときの許可

農地法第5条

農地を農地以外に転用するため、所有権等の権利の移転、賃貸借権等の設定をするときの許可

農用地利用集積計画

あっせんによる所有権等の権利の移転、賃貸借権等の設定をする
ときの手続

農地の相続等の届出のお願い

相続等によって農地を取得した場合は、農地法の規定により、農業委員会へ届出をしなければなりません。届出をされませんと賃貸借や、売買などの権利移動に支障がでてしまいます。

要注意！ 農業者年金が減額になる場合があります。

後継者等に
経営移譲された方

農地の貸借の相手先の変更や農地の転用など、農地の移動の予定があるときは、必ず事前に農業委員会またはJAに相談しましょう。

令和2年は農業委員の改選の年です。

現在の農業委員は、令和2年7月19日で任期満了となるため、新しく農業委員を募集します。募集はおおむね2月から開始を予定しています。

- 募集人数 36人
- 市内に居住し、農業に関する識見を持ち、農地利用の最適化に関する職務を適切に行うことができる方
- 委員の任期 令和2年7月20日（月）から3年間



令和元年度 道外視察研修を実施しました。

農業委員会では任期中3班に分かれ道外研修を実施しています。

令和元年度は、熊本県菊池市農業委員会、福岡県糸島市農業委員会を訪問し、それぞれ農業委員会の組織体制、耕作放棄地の解消、女性委員の活動状況などについて、意見交換を行いました。



菊池市農業委員会



糸島市農業委員会

さらに、JA直売所として売上高日本一を誇るJA糸島産直市場「伊都菜彩」の現地視察も行いました。研修で得た結果について、今後の農業委員会活動や農業経営の一助となるよう活かしてまいります。

岩見沢市のHPの農業委員会のページをリニューアルしました！

アドレス <https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/content/detail/1505015/>



- 総会などの実施日程
- 農地法の各種手続
- 相続の手続
- 農地所有適格法人の報告
- 農地の賃貸借、所有権移転等のあっせん手続など

岩見沢市農業委員会

検索

※申請様式がダウンロードできます

農業委員会では法人の要件を確認します

農業委員会は法人からの報告に基づき、総会場で法人の要件を確認します。

未報告の場合は、法人の要件を確認することができないため農地のあっせん等の対象になりません。

報告書様式を別途お送りしますので、決算が終わりましたら、速やかに必ず農業委員会に報告してください。

農地所有適格法人（旧農業生産法人）は、農地法第6条の規定により毎事業年度決算から3か月以内に事業の状況について農業委員会に報告しなければなりません。

農業従事者調査票提出のお願い

今年度も町内会長・農事組合長を通じ、農業従事者調査を実施しています。取りまとめのうえ、**1月14日(火)**までに提出してください。

平成30年度 農業従事者調査結果

地区	区分	年度	個人		法人		合計	
			戸数	人数	戸数	人数	戸数	人数
岩見沢		30	336	865	50	170	386	1,035
		29	360	911	46	153	406	1,064
北村		30	213	571	56	206	269	777
		29	223	584	55	206	278	790
栗沢		30	236	604	10	43	246	647
		29	242	608	9	41	251	649
計		30	785	2,040	116	419	901	2,459
		29	825	2,103	110	400	935	2,503

農地流動化状況

(平成30年11月から令和元年10月審議分)

単位：件・㎡

農地法第3条				農用地利用集積計画				農地法第4条		農地法第5条	
所有権		使用収益権		所有権		使用収益権		件数	面積	件数	面積
件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積				
28	337,343	46	4,888,898	159	6,770,195	140	4,699,755	9	9,676	4	6,839

各地区農業委員一覧

	担当地区	農業委員名
第1地区	上幌向町・金子町	黒田 芳明
	幌向町・御茶の水町	吉成 朗
	中立委員	柿崎 壽恵子
	志文町・下志文町・南町・大和町	倉田 真二
	中幌向町・双葉町	佐々木 利夫
第2地区	西川町	坂 啓一
	稔町	森 一男
	西川町・若松町	馬場 広之
	稔町	森本 英世
	北海土地改良区推薦	長井 眞一
第3地区	峰延町	野 文明
	宝水町・上志文町・毛陽町	山田 辰弘
	いわみざわ農協推薦	引頭 一宏
	大願町	中林 強
	東町・岡山町	前田 善治
第4地区	北村中小屋	渡辺 亮二
	北村赤川・栄町	西谷内 智治
	北村大願	戸田 憲一郎
	北村豊正	尾田 憲朗
	峰延農協推薦	伊藤 俊春
中立委員	米内山 裕子	

	担当地区	農業委員名
第5地区	北村幌達布	町田 透
	北村豊里・北都	木下 幸彦
	北村砂浜	池田 明博
	北村中央・美唄達布	志賀野 敏
	北海道中央共済推薦	井川 和也
第6地区	栗沢町南幸穂・小西・岐阜	日笠 和良
	栗沢町越前	干場 克二
	栗沢町北斗	柳谷 春夫
	中立委員	近田 昌枝
	栗沢町自協・必成	山谷 康雄
第7地区	栗沢町北幸穂・最上・由良	籠島 和義
	栗沢町加茂川・栗丘・茂世丑	宇井 正明
	栗沢町砺波・栗部・耕成	宮崎 裕治
	栗沢町上幌・宮村・万字・美流渡	道下 智義
	中立委員	小倉 和敏

農地について、
まずはご相談を！



全国農業新聞



～「全国農業新聞」購読のご案内～

全国農業新聞は、農業者の公的代表的機関である農業委員会系統組織の全国農業会議所が発行している農業総合情報誌です。地方版には、地域の独自情報が掲載されています。

- 発行日 毎週金曜日
- 購読料 1か月700円
- 申込 農業委員会事務局または地区担当農業委員へ

編集後記

明けましておめでとうございます。「農業委員会だより」第14号をお届けいたします。

今号は農業委員の改選や意見・要望の提出など記載したい内容が多いので、ページ数を増やし、年金情報や道外視察研修について掲載しました。ご参考にしていただければ幸いです。

編集委員長 柳 谷 春 夫
編集委員 森本 英世
柿崎 壽恵子
山田 辰弘
戸田 憲一郎
井川 和也
小倉 和敏

事務局職員の異動について

平成31年4月1日付けで事務局の人事異動がありましたので、お知らせいたします。

旧

事務局長 寺島 直樹
農地係 牧野 博樹
振興係 岩田 数洋

新

事務局長 原 政裕
農地係 佐藤 一明
振興係 石澤 磨